

中二国語科通信

第3号
令和元年11月26日
国語科2年担当
狭間・奥池



ランドセルの底から発掘されたるは
朝着て行った赤いパーカー

第二回「二百字の獅子」

前回からだいぶ間があいてしまいました。十月にやっと実施した第二回のテーマは、「買い物するならネットか店か」です。今回も面白い意見がたくさん出ていました。各クラス二作品ずつ紹介します。

「自分の欲しい物を確実に」

一組 柴田寛斗

私は買い物するなら店派だ。なぜなら、実際に自分の目で確認した方が確実だからである。最近、ネットショッピングの商品の紹介文がウソであるなどということが問題になっている。これは実際に確認できないという、ネットショッピングの弱点につけこんだ汚い手段である。このような問題は、ネットショッピングの方法が変わらない限り消えることはない。だから、確実に自分の欲しい物が手に入る店で買い物する方が良い。

「あなたはどちら？ ネットか店」

一組 山田萌瑛

近年、ネットが発達したからか、ネットでの買い物が増えたり前になつてきた気がする。私も衣服を買うときは、直接店へ買いに行くのではなく、ネットで買っては、ネットで買うメリットとは何だろう。

まず一つはわざわざその店に行かなくても自分の欲しいものを手に入れることができる。さらに、欲しいものをテーマをしぼって探すことができる。

だから私は、ネットでの買い物に魅力を感じるのだ。

「楽をするより安全性を。」

二組 日野ゆりな

私は、買い物は店で買った方がいいと思う。理由は、店で買えば実際に実物を見た後に買うことができるからだ。これにより、販売側と購入側とのトラブルも少なくなる。

もう一つの理由は、ネット販売だと詐欺にあう可能性があるからだ。ネット販売は画像だけのやり取りであり、互いが言葉を交わすことがない。その分情報量も少なく詐欺にあう危険性が高いのだ。これにより、私はネット販売よりも店で商品を買うことを選ぶ。

「ネットの良さ」

二組 伊達秀太

買い物をするなら、ネットの方がいいと思う。店で買う場合は、人が多く、混んでいて買い物をするために時間がかかったり、買い物をするために、その場所まで行かなければならないが、ネットで買う場合は、どこでも買うことができるので、時間が少なくてすむ。また、多くの店の値段と比較ができるのでより安く買い物をする事ができる。よって、ネットで買い物をした方が、楽に買い物をする事ができる。

百人一首大会



これまた随分前の話題になってしまいましたが、一期補習の最後に百人一首大会が実施されました。暗唱も、はや九十首近くになり、あと少しで百首コンプリート……のはずですが、ここへきてまっつた……く覚えていない人が多数いることが判明。合格印をもらっている以上、すべて言えるのは当然です。繰り返し唱え続けてください。



「ラムマラソン」第三回

「何かの『中心』に挑戦せよ」
奥池 大和

みなさんは、中学二年生として半分以上過ごしてきましたね。部活動では三年生が引退して約五ヶ月、いよいよ生徒会や各クラスの役員なども後期になり、一中の中心として実際に動くことが増えてきました。

「中心的な立場になる」って難しいと思いませんか？ 私は大学生の時に演劇部に所属しており、そこで一つの舞台をまとめる演出という立場になったり、部全体をまとめる部長という立場になったりしました。その時からずっと悩んでいます。人を導く、人を動かす、人に指示するって難しいなあ。しかも、考えが違ふ人がいたり、言う事を聞いてくれない人がいたり、まとめても良い結果が得られなかったり……。まったくもって困難なことだらけです。

いろんな方法論はありますが、時や状況、場所などの条件は様々です。で、絶対によくいく方法というものはないのでしょう。そんな「答えのない問題」に立ち向かっていく力が、今後の予測困難な社会を生きる皆さんに求められています。「中心的な立場になる」というのは、その力を鍛えるための方法の一つになるのではないのでしょうか。ぜひ何かしらの「中心的な立場」にチャレンジしてみてください。

最後に、中心的な立場になる「挑戦者たち」へアメリカのリンカーン元大統領のこんな言葉を紹介します。

人間は、たとえ相手が自分の一番関心のある目標に導いてくれる指導者であっても、自分の気持ちを理解してくれない者には、ついて行かない。